

一般社団法人山口県医師会平成26年度第11回理事会

平成26年9月4日(木) 午後5時～午後7時50分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・藤本・今村常任理事、武藤・沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

協議事項

1 第1回郡市医師会長会議について

10月16日開催の郡市医師会長会議の日程及び議題について協議を行った。

2 福岡県医師会・山口県医師会災害時における相互支援に関する協定書締結について

福岡県医師会より、県境又は各県内において発生した災害について、被災した県医師会独自では十分な医療救援活動が実施できない場合において、相互扶助の精神に基づき、救援活動を円滑に遂行することを目的とした、災害時における相互支援に関する協定を締結したい旨の提案があった。本会では、本年3月に策定した「JMATやまぐち活動マニュアル」に則り、県外(近県)における災害発生時の対応として県等からの要請を受け、また県外の広域災害については、日本医師会、県及び被災地からの要請に基づき、JMATやまぐちを派遣することとしていることから、相互支援内容の傷病者・被災者の受入れについては可能な限り情報提供に努めることとして、協定を締結する方向で今後検討することが決定した。

3 広島県医師会への災害見舞いについて

中国四国医師会連合において、広島県土砂災害に対する見舞金を広島県医師会に贈呈することに決定したが、本県単独での対応について協議を行った。

4 日本プライマリ・ケア連合学会山口県支部(仮称)設立に係る対応について

岩国市の原田唯成先生より、山口県内の住民が健康な生活を営むことができるよう、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践と学術活動、並びにプライマリ・ケアに従事する人材の育成とその確保を行うことを目的に、8人の有志が世話人となり、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会山口県支部(仮称)を設立することとなった(支部長は山口県立総合医療センターの原田昌範先生)。ついては、本会理事の世話人会参画の要請があり、吉本副会長を推薦することに決定した。

5 郡市医師会役員との懇談会について

今春、本会及び郡市医師会において役員改選が行われた。地域の抱える医療問題等について情報・意見交換会を行い、今後さらに連携を深めるため、会長交代の行われた郡市医師会を対象に役員懇談会を開催することが決定した。

6 山口県緩和ケア医師研修会の開催回数の変更について

本会は、平成20年度より山口県からの委託を受け緩和ケア研修会を年2回開催してい

る。平成 21 年度より、がん診療連携拠点病院において独自に研修会を開催する体制が整ったこと、また、近年参加人数も減少傾向にあることから、来年度の委託契約は研修会開催を年 1 回に変更したい旨の提案が山口県からあり、初動期の役割は果たしたとして了承することに決定した。

7 かかりつけ医機能強化研修会～第 2 回日本医師会在宅医リーダー研修会～について
10 月 13 日に日本医師会において開催される研修会の出席者及び本会館において実施するテレビ会議システムによる同研修会の進行担当者について協議を行った。

報告事項

1 医事案件調査専門委員会（8 月 21 日）

病院 1 件、診療所 1 件の事案について審議を行った。（林）

2 第 59 回中国地区学校保健研究協議大会（8 月 21 日）

山口県学校保健連合会の会長として、来年度開催引き受けの挨拶を行った。（小田）

3 第 1 回山口県要保護児童対策地域協議会・代表者会議（8 月 21 日）

山口県における要保護児童対策の現状と取組み、居住実態が把握できない児童に関する調査、児童養護施設等の小規模化等の県推進計画等について協議を行った。

（濱本、藤野）

4 勤務医部会第 2 回企画委員会（8 月 23 日）

「研修医と医学生との座談会」の内容及び日程、2 月 22 日（日）開催予定の勤務医部会総会後に開催するシンポジウムのテーマ、今年度新規事業である「医療クラークのスキルアップのための研修会」の内容等について協議を行った。（中村）

5 臨床研修医交流会（8 月 23～24 日）

1 日目は、山口県医師臨床研修推進センターの事業紹介、山口大学大学院医学系研究科情報解析医学系小児科学の大賀正一教授による特別講演「未来のこどもたちのために」、「やまぐちで生きる研修」をテーマにしたグループワーク、懇親会を開催した。2 日目は、聖マリア病院集中治療科の漢那朝雄医長による特別講演「心肺蘇生ガイドライン ガイドラインはあくまでもガイドラインにしかすぎません!」、後期研修医による進路紹介、グループワークのベストプレゼンテーション賞の発表が行われた。（中村）

6 第 45 回中四九地区医師会看護学校協議会（8 月 23～24 日）

呉市医師会看護専門学校の引受けにより、「今どき看護学生のやる気と本気の育て方～教えることで共に育とう～」をテーマに開催され、教育研修会・特別講演等が行われた。出席者約 400 名。（吉本）

7 中国四国学校保健担当理事連絡会議（8月24日）

「食物アレルギー」を主テーマに、広島県医師会の担当で開催された。中国四国各県医師会より、食物アレルギー関係 11 議題、その他 4 議題について情報交換を行った。また日本医師会への要望 7 題については、日本医師会の道永麻里常任理事から回答が行われた。（藤本）

8 中国地区学校保健・学校医大会（8月24日）

中国 5 県から研究発表が行われ、本県からは、宇部市教育委員会学校安心支援室の佐々木雅宣室長より「宇部市におけるいじめ防止対策について」が発表された。その後、元ありた小児科・アレルギー科クリニックの有田昌彦先生による「食物アレルギー管理指導表、指示書の問題点」、日本医師会の道永麻里常任理事による「学校保健の現状と課題」の特別講演が行われた。来年度は山口県医師会の引受けにより、平成 27 年 8 月 23 日に開催予定。（沖中）

9 医事紛争防止研修会（8月25日）

宇部興産株式会社中央病院において開催。本会より、野村雅之顧問弁護士による「医療訴訟から学ぶ医療安全の方策」、林 弘人常任理事による「医療紛争の現状と問題点」及び宇部興産株式会社中央病院顧問の金子和則氏より「クレーム対応について」の講演が行われた。参加者は医師・薬剤師・看護師等診療関係者 70 名。（林）

10 8月6日集中豪雨災害見舞い（8月26日）

先般の岩国地区集中豪雨により被害が甚大であった会員病院へ災害見舞金の贈呈を行った。（小田）

11 山口県警察官友の会総会（8月26日）

平成 25 年度事業報告・決算報告、平成 26 年度事業計画・収支予算、役員の選任について審議、承認された。（小田）

12 小児死亡事例に対する死亡時画像診断モデル事業説明会（8月27日）

厚生労働省医政局医事課の中田勝己課長補佐による「小児死亡事例に対する死亡時画像診断モデル事業の意義と背景について」、日本医師会の今村 聡副会長による「モデル事業の概要～事業体制と全体の流れ～」、(財) Ai 情報センターの山本正二代表理事による「症例の提供に際しての留意点～読影の立場から～」、日本医師会の松本純一常任理事による「モデル事業の事務手続き等について」の 4 項目について説明後、質疑応答が行われた。なお、当日は道府県医師会に対してテレビ会議システムによる映像配信も行われた。（濱本）

13 第 71 回中国地方社会保険医療協議会山口部会（8月27日）

医科では、新規 2 件が承認された。（小田）

14 第 119 回地域医療計画委員会 (8 月 28 日)

新たな財政支援制度(新基金事業)の計画案及び事業実施に向けてのスケジュールが説明された。9 月上旬に総合確保方針告示、交付要綱等発出(国→県)、9 月下旬に都道府県計画提出(県→国)、10 月に内示(国→県)、11 月に交付決定(国→県)、12 月に県議会において基金条例改正、12 月補正予算計上の予定となる。また、病床機能報告制度及び地域医療ビジョンについての説明も行われた。(弘山)

15 第 2 回健康教育委員会 (8 月 28 日)

今年度のテキスト「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」の内容及び平成 27 年度テキストのテーマについて協議を行った。(藤本、沖中)

16 医療廃棄物三者協議会 (8 月 28 日)

電子マニフェスト統計情報及び医療廃棄物適正処理講習会の開催内容等について協議を行った。(吉本)

17 第 1 回山口県医療審議会 (8 月 28 日)

新たな財政支援制度に係る事業計画案、地域医療支援病院に係る名称使用について協議を行った。(小田)

18 個別指導「下松市」(8 月 28 日)

診療所 8 機関について実施され、立ち会った。(清水、船津)

19 第 28 回中国ブロック理学療法士学会開会式 (8 月 30 日)

会長代理として祝辞を述べた。(吉本)

20 第 19 回中国四国医師会共同利用施設等連絡協議会 (8 月 30 日)

高知県医師会の担当で開催。「地域包括ケアにおける医師会共同利用施設の役割」をテーマに研究発表及びディスカッションがあり、最後に、日本医師会の横倉義武会長による特別講演「日本医師会の医療政策」が行われた。(船津)

21 第 3 回山口県糖尿病療養指導士講習会 (8 月 31 日)

「急性合併症」、「慢性合併症 1」、「慢性合併症 2」「ライフステージ別の課題と療養指導」の講義 4 題が行われ、その後確認テストを実施した。受講者 182 名。(弘山)

22 健康スポーツ医学研修会・実地研修会、スポーツ医部会総会 (8 月 31 日)

午前は、山口県ねんりんピック推進室の吉岡達也室次長より、ねんりんピックの概要について説明後、山陽小野田市病院事業管理者・山口大学名誉教授の河合伸也先生による「ねんりんピックにおける救護の実状について」、山口大学大学院医学系研究科救急・生体侵襲制御医学分野の小田泰崇准教授による「高齢者スポーツ競技の問題点ー救急医療の立場からー」の特別講演が行われた。午後からは、日本体育大学日体大総合研究所

の武藤芳照所長による「転倒予防の理念と展開ー子どものからだの異変から高齢者の転倒・骨折の予防までー」の特別講演及び身体教育医学研究所うんなんの北湯口 純主任研究員並びに若林巧貴運動指導士による実技指導が行われた。スポーツ医部会総会では、平成 25 年度事業報告及び平成 26 年度事業計画について審議、承認された。出席者 56 名。
(藤本、香田)

23 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修会伝達講習会 (8 月 31 日)

認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識を修得するための研修会であり、医師・看護師等の医療従事者を対象に開催された。目的編、対応力編、連携編からなる講義及び模擬演習と質疑応答が行われた。受講者約 100 名。(河村)

24 広報委員会 (9 月 4 日)

会報主要記事掲載予定 (10~12 月号)、炉辺談話、歳末放談会、tys「スパ特」のテーマ等について協議した。(今村)

25 会員の入退会異動

入会 6 件、退会 14 件、異動 26 件。(9 月 1 日現在会員数 : 1 号 1,310 名、2 号 901 名、3 号 434 名、合計 2,645 名)